

第1回 矢上川地下調節池施工技術検討会 議事要旨

1. 日時 令和4年3月8日（火） 13:30～15:10

2. 出席者

小山幸則委員長、砂金伸治委員、岩波基委員、菊本統委員、真下英人委員

3. 議事概要

- 事務局より設立趣旨書及び規約（案）の説明を行い、全委員より承認された。
- 事務局より「矢上川地下調節池【I期工事】の現地条件」、「周辺環境への影響」、「今後の進め方」について説明した。
- 各説明後の質疑応答において、委員より以下の趣旨の意見があった。
 - ・ 地表面や構造物に対する変位解析は、下方領域を狭く設定する方が沈下量が大きく現れるため、留意が必要である。
 - ・ 建築物で独立基礎の場合、杭が複数あるとそれぞれの杭の挙動が異なることが懸念される。
 - ・ 変位解析の結果は、実際の挙動とは異なる部分もあるため、施工時にはモニタリングを行いながら掘削することが重要となる。
 - ・ 変位解析の結果は、近接構造物の管理者との協議を行うために必要であるが、実際に掘進していく途中で自らの管理値を設定するためにも必要である。その2面性があることを考えながら解析を行ったほうがよい。
 - ・ 今後行う変位解析については、方針、方法、条件について委員に確認の上、行ったほうがよい。